

公共事業再評価調査

主管課：都市整備・モルルール課

1 事業概要	事業名：平和祈念公園整備事業			
	事業種別：都市公園事業	事業主体：沖縄県	当初事業期間：H7～H12	
	事業箇所：糸満市	根拠法令：都市公園法	事業期間：H7～H17	
	総事業費(百万円) 16,248	費用内訳：補助 1/2	事業量：47.0ha	
(整備目的)	県民の歴史・文化に対する関心の高まりや余暇利用の多様化に伴い、施設内容の一層の充実を図るとともに、世界の恒久平和を祈念し、平和の情報発信の機能を併せ持つ公園として整備する。			
2 再評価 該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業採択後10年間を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業採択後5年間を経過して未着工 <input type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間( 年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止 <input type="checkbox"/> ⑤ その他 (			
3 再評価に至 った主な要因 (具体的理由)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 ( ) 補償交渉の難航により事業期間が長引いたため。			
4 事業の 進捗状況 (H16. 3月時点)	項目	事業費(百万円)	整備 (ha)	用地取得(千㎡)
計画	16,248	47.0	470.0	
実施済	15,060	41.4	455.3	
率	93 %	88 %	97 %	
5 事業効果の 評価指標  (検討年 50年) (基準年H16) (単位:百万円)	①直接便益(旅行費用価値,施設利用価値)	323,967		① 用地費 3,432
	②間接便益(環境の維持・改善)	570		② 施設整備費 18,760
				③ 維持管理費 6,644
	基準年換算 (B)	324,537		基準年換算 (C) 28,836
	費用便益比 (B/C) = 324537 / 28836 = 11.3			
6 事業を巡る 状況の変化	① 社会・経済： 少子高齢化が進展している今日、心の豊かさや癒しを求める国民の価値観とライフスタイルの変化に伴い、快適で潤いのある生活環境を支える公園整備が必要とされており、観光需要も高まってきている。また、昨今の混沌とした国際情勢のなか、当該公園の存在意義が高まっている。 ② 地元・自治体： 地元の方が積極的にボランティア活動を行っており、NAHAマラソンの中間地点として親しまれている。 ③ 利害関係者： 補償交渉が難航している地権者がいる。			
7 事業の必要 性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 県民の生活意識や価値観の変化、余暇時間の増加に伴うレクリエーション需要の増大等、多様化する利用者のニーズに対応するために事業を推進する。また、年々増加する観光客や公園利用者の利便性の向上のために整備をする必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト削減)： 当該公園の進捗は88%であり、平成17年度には完了予定である。よって現計画を推進する。また、他事業により発生した移植木の受け入れによりコスト削減を図った。 ③ 事業効果の発現状況： 平和祈念公園としての整備済み箇所には県内外より多くの来園者が訪れており、毎年6月23日の慰霊の日には国内や米国等の国外からも多くの関係者が参加して沖縄戦没者追悼式が行われている。			
8 今後の対応 ・見直し	① 事業計画等：平成17年度に整備完了し、全面供用する予定。 ② 対住民関係：用地の取得に鋭意努力し、地権者の理解を求めていく。 ③ 執行体制等：現在の組織体制で計画通り執行は可能である。			
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			